

# 経済学研究科を知ろう！

~在学生 & 社会人院生の視点から

1

法政大学 経済学研究科 博士後期課程3年

名前：K.A.

# はじめに

## 2

- ここでは、学生の視点から、法政大学大学院経済学研究科について紹介します。
- 大まかな紹介は本文で行い、私の個人的経験や見解などは【Comment】で紹介しています。
- 私は2015年に入学した社会人学生です。

### 【Comment】

- 具体的な制度やカリキュラムは先生方の説明資料を参照してください。
- ここでは、入学した場合に想定されるイベントを時系列にそって説明したいと思います。

# 研究目的を設定する

3

- まずは、大学院で何を研究したいんだろう？と考えましょう。
- 自分のやりたい大きなテーマを設定することが大事です。
- 具体的に何を研究し、論文という形で発表したいのか？というゴールを常に意識しましょう。

## 【Comment】

- 大学院に入ろうとするときに、ある程度はっきりしたもの（やりたいテーマ）をもっていたほうが、その後スムーズに大学院生活を送れます。自分で調べるなり、指導をお願いする予定の先生に聞くなりして、なるべく具体的なイメージを持ちましょう。（実証分析、シミュレーション、理論...くらいでも。）
- ちなみに私は、かなり漠然としたままだったので、その後、修士論文（または「研究計画書」）や博士論文のテーマ設定にかなり苦労しました。その結果、研究がやや迷走することも...
- 具体的には、私は当初「"地方の中小企業の国際化"について研究したいなあ」くらいでした。そこからなかなか研究テーマを具体化できず苦しみましたが、ある先輩院生は「原産地規則を研究・分析したい!」と当初から明確だったので、スムーズに必要な分野の研究を進めることができていたような気がします。

# 修士課程1年目

4

## ●講義：基本科目－専門科目

- いわゆるコア科目（ミクロ経済学AB、マクロ経済学AB、計量経済学AB）はどの研究テーマでも基本になります。
- 経済学研究科ではさまざまな科目が開講されます。
- Ph.D.コースを希望する場合、進学には単位及び成績要件があります。

## ●論文指導（ゼミ）

- 指導教授のもと修士論文執筆のため基礎的な文献・予備的な分析をします。
- Ph.D.コースでも進学時に具体的な「研究計画書」の執筆が求められます。

### 【Comment】

- コア科目を1年で取るのは結構大変です。2年間で分割するのも手だと思います。ゆっくり・ゆったりやりましょう。（私は1年で大変だったのでおすすめはしません。）
- 基礎科目・専門科目では担当される先生によって内容・レベルがかなりちがう場合があります。シラバスで確認して、いろいろ聞いてみましょう。コア科目でも「やっていることが自分が想定していたのと、ちがうなあ…」と感じれば、翌年履修に回してもOKだと思います。
- なお、Ph.D.コースの場合、1年次の冬にQEがあります。基本的にこの時期のスケジュールになっていますので、しっかり勉強しましょう。

# 修士課程2年目

5

- **講義：**

- 引き続き、必要な単位をとりましょう。

- **論文指導（ゼミ）：**

- 必要な分析・調査を行い、修士論文を執筆する。

- 前期ワークショップ(7月) ...修士論文の構想を発表する。

- 後期ワークショップ(12月) ...修士論文途中経過発表する。

## 【Comment】

- ワークショップは、前期は自分の論文構想、後期は論文として発表する予定の研究・分析結果の中間発表になります。そこでは指導教授以外の先生や学生の前で自分の研究について発表し、論文執筆に向けて、いろいろなコメント・アドバイスをいただきます。

- ワークショップでは、先生方から相当厳しいコメントが飛び、雰囲気ピリピリするような状況もありますので、しっかり準備しましょう。

- 論文指導はワークショップ・修士論文発表のスケジュールを頭に入れて、計画的に取り組みましょう。

- ちなみにPh.D.コースの「研究計画書」は実質的に修士論文みたいになる可能性があります。

# 論文指導（ゼミ）とは？

6

## ● 指導教員を決める

- 各専門の先生がいらっしゃいます。自分の研究したいテーマにあった先生に指導していただきます。

## ● 自分のテーマの先行研究を読む

- 教授に論文紹介をお願いしてもよし、自分で探した論文を読むのもよし。

## ● 自分の研究をまとめる（修士論文へ）

### 【Comment】

- 論文指導では、先生と一緒に文献購読をしたり、自分でやってみた分析結果を検討するなど修士論文作成に向けた指導をしてもらいます。
- 私はPh.D.コースだったので、ややゆっくり目のペースでした。週に1回のペースで2年次の前半まで主に文献購読(Feenstra “Advanced International Trade Theory and Evidence”を読んでいき、2年次の後半から関連する文献や論文の購読に取り掛かりました。
- 修士論文を書く場合は、1年次で基本的なリサーチを終えて、2年から実際にデータ等を集めたり、自分の分析をしていくような感じになると思います。
- 特に最後にバタバタしないためには早めにどんな修士論文を書きたいか自分の考えをもっていることが重要です。

# 修士論文

7

- **修士論文予備登録**

- 修士論文書くぞ！という意気込み（登録しないと修士論文提出不可）

- **修士論文提出**

- 自分の研究成果をすべて論文に！

- **修士論文審査及び最終試験**

- 自分の論文の要旨を説明、口頭試問を受ける

## 【Comment】

- 私はPh.D.コースだったので、QEと研究計画書の提出を行いました。
- QEは完全に準備不足でした。早めに過去問等をもらって対策しましょう。
- 研究計画書の付属資料として、これまで2年間進めてきた研究をある程度まとめなければならず、そこではほぼ論文と同じようなものを求められた気がします。
- 当時、そのようなものを予想していなかったなので、2年次の後半に、かなり面食らったことを覚えています。（ただ、Ph.D.コースは私が入学する前年にできたばかりで、今はやり方が異なっているかもしれません。）

# 博士課程

8

## ● 博士課程について

- 博士課程は3年間になります。
- 主に論文指導となりますが、2017年から講義も4単位履修することが求められます。（前期課程でとった科目以外の専門科目が該当します。）
- 3年or moreで博士論文を提出します。
- 博士論文を提出する前に博士WSや学会発表、論文投稿の準備などを通して自分の研究をブラッシュアップし、まとめていきます。

### 【Comment】

- 私の現在までの状況です。
  - D1年目：先行研究や最新論文を先生と一緒に読んでいきました。
  - D2年目：指導教授がサバティカルのため、別の先生の論文指導となりました。そこでMatlabを使ったシミュレーションなどを扱いました。良い刺激になりました。
  - D3年目：研究テーマをしぼり、データを集め、実証分析を行いました。
  - D4年目：さらに分析を進めて、日本経済学会（ポスター発表）（“地域における産業のupstreamnessとdownstreamness”）、国際経済学会（“地域の産業構造の変化と国際貿易パターンについての実証分析”）にて研究発表を行いました。（現在）
- もう少し早めにテーマをしぼって研究を進めればよかったと（本当に）思っています。
- ただ、最近ではだんだん自信をもって自分の研究を説明できるようになりました。



# 社会人学生について

9

## ● 社会人学生の状況

- 経済学研究科には、通常の学生、留学生に加え、多くの社会人学生が在籍しています。
- 仕事と家庭（子育て）などとの両立は大変ですが、講義の多くは土曜日と平日夜なので、十分に対応可能だと思います。
- 学費も比較的リーズナブルであり、自身のステップアップのために時間とコストをかける価値は十分にあると思います。

### 【Comment】

- 私も社会人学生ですが、社会人であればこそ、実際の社会に出て、具体的な問題意識や経済学をどう役立てたいかという動機が明確になることが多いと思います。
- 私も現在、某自治体に勤めていますが、実際に自治体の政策決定の場において「こんなんでいいの??」と思ったことが、現在の研究テーマの原点にあります。
- ちなみに私は法学部の出身ですが、上のような問題意識が頭を離れなくなっていたときに、都内の某大学院に派遣されたのが「経済学」との出会いでした。
- その後、少し暇な部署に異動したときに、もっと専門性を磨きたい、経済学を勉強したいと思って、本学の経済学研究科に入学しました。
- 現在、EBPMなどが国でも言われるようになり、経済学・統計学などの専門性をバックグラウンドにした人材の必要性が求められる雰囲気を感じています。